

NEWS LETTER



NO.31

2008.8.15

発行：にほんごひろば岡本

〒658 - 0003 神戸市東灘区本山中町 4 - 18 - 22

☎078 - 453 - 5931

にほんごひろば岡本

<http://www.kabto-yama.ac.jp/hiroba/>

ひろばで大いにおしゃべりを！

去る7月5日、NPO兵庫日本語ボランティアネットワークの総会に続いて開催された研修会で、大阪大学留学生センター教授西口光一氏から「地域日本語支援活動が担うもの」と題する講演を聴きました。その論旨は、私がひろばで活動しながら考えていることと同じだと納得できるものでした。前後の文脈を省略して引用するのは多少乱暴かもしれませんが、大意を損なわないよう注意しながら、その部分をご紹介します。

資料の論文の「在住外国人が期待する日本語」という項目の中で次のように述べておられます。「ここで指摘したいのは、地域日本語教室に参加する外国人が教室に期待しているのは、生活上の実用のために必要な日本語ではなく、実用的には必要ではない『おしゃべり日本語』である可能性があるということである。あるいは、『おしゃべり日本語』の能力を伸ばすことを牽引力として、日本語一般の能力を伸ばしたいと期待していると言ってもよいであろう」

また「自然習得」の定義を、「目標言語で話される土地で暮らし、その中で目標言語を話すさまざまな人と交わったり、目標言語で書かれた看板や標識や各種の書面に触れたりする中で自然にその言語を身につけていくという方法である」と説明された上で、「自然習得とおしゃべり日本語」という項目で、このふたつを次のように結び付けられています。

「そこ（自然習得）で習得されている日本語は日常生活の活動を営むための『生活日本語』であろうか。確かにかれらはそのような日本語もよく習得している。しかし、それはかれらが使える日本語のごく小さな部分である。それよりももっと大きな部分は『おしゃべり日本語』である。かれらは、自分のこと、クラスメイトのこと、国の家族の話、ホームステイやホストファミリーの家族の話、そうした家族一人ひとりのこと、その人たちと過ごしたお正月や旅行などの経験、趣味や余暇の話等、日本語を話す人たちと共にした経験やよく話した話題をその人たちと共有するとともに、それらを表現する言葉を習得しているのである」

にほんごひろば岡本には、日本が大好きな外国人の方々がやって来て、外国人と仲良しになりたい日本語の「達人」たちと『おしゃべり日本語』を飛び交わせながら、いつの間にか日本語を『自然習得』するという好ましい環境が出来上がっていると思います。

「会話ができた外国人の方は、日本語教室の外で日本語を話すために教室へ来るのではなくて、教室の中で話すために来るのです」という講師のひと言がとても印象的でした。（大西 勇）

◆「にほんごひろば岡本」第9回総会&支援者交流会の報告

開催日時：2008年5月17日（土）午後1時30分～4時

開催場所：にほんごひろば岡本

議 案：第1号議案…2007年度活動報告

第2号議案…2007年度収支報告

第3号議案…2008年度活動方針（案）

第4号議案…2008年度予算（案）

第5号議案…2008年度役員改選（案）

総会設立要件：登録者総数 39名

出席者数 16名

委任状 10名

規約により、過半数以上を満たしているので、本総会は成立しました。



議 長：宮武寿美雄氏

《議 事》

第1号議案…2007年度活動報告に関する承認の件

議長の指示に基づき、西村代表から配布資料に沿って説明がありました。

問題点として以下のことがあげられました。

運営委員の役割を見直す必要がある。学習者の増加に支援者が追いつかず、複数の学習者を担当している支援者が多くなっている。ステップアップ講座・支援者交流会を開くことができなかった。交流イベントの実施に追われている感がある。休みの連絡が徹底していない。学習者からの協力金（受講料）の徴収がスムーズにいかないケースがあったため、赤字決算になった。

第2号議案…2007年度収支報告に関する承認の件

議長の指示に基づき、西村代表から配布資料に沿って説明がありました。

収支について会計監査報告を会計監査の黒岩氏と市川氏にお願いしました。帳簿書類等を監査の結果、適正かつ正確に処理されていると認められました。

第3号議案…2008年度活動方針（案）に関する承認の件

議長の指示に基づき、西村代表から配布資料に沿って説明がありました。

基本方針に加えて、学習者との異文化交流のみならず、支援者が異世代間交流のできる場でもありたい、また、日本語学習の枠にとらわれず、より広い視野に立った支援活動を目指したいとの説明がありました。

上記の問題点を踏まえて、改善できるものから早急に対処していくことを確認しました。

第4号議案…2008年度予算（案）に関する承認の件

議長の指示に基づき、西村代表から配布資料に沿って説明がありました。

第5号議案…2008年度役員改選（案）に関する承認の件

議長の指示に基づき、西村代表から配布資料に沿って説明がありました。

今年度の役員並びに運営委員は次の方々となります。

代表：西村佳子

副代表：下田美津子 宮武寿美雄

会計：坂本喬子

会計監査:黒岩元晴 市川邦子

運営委員:橋本桂子 松見和代 古瀬尚子 井畑真理子 三木知津子 小澤恭子 吉岡恵子

山中寿子 大西勇 佐々木五十四 中禮かおり (順不同・敬称略)

第1号議案から第5号議案まで議場に諮った結果、特に異議なく拍手多数をもって原案通り承認されました。

ひろばのいろいろなイベントのお知らせを黒板や通路に貼っておきますので、注意してみてください。また、学習者に関するものはその都度説明してください。ご協力をお願いします。問題点を踏まえて、運営委員の役割分担を行うため各交流イベントのリーダーを自薦してもらいました。リーダーを助けてみんなで協力することが出来ればと思っています。休みの連絡や協力金の徹底などは学習者の力を借りて、各国語(英語・中国語・韓国語・タイ語)で作成しました。助成金も減額の傾向にあります。ひろばを継続するためのみなさまのご協力をお願いします。

支援者交流会

ひろばも最近、子どもたちが増えています。市販の教材に頼らず、手作りや生教材の活用など、独自の工夫をこらした支援を試みられている方々にお話を伺いました。山中さん、小澤さん、矢崎さん、古川さん、大西さん、松岡さん、佐々木さんが発表して下さいました。それぞれの工夫には驚いたり感心したり、参考になることがたくさんありました。発表内容はひろばで保管していますので、希望者は申し出てください。

1対1の支援、支援曜日や時間帯が異なっていますので支援者同士が交流する機会がないのが現状です。今回のような発表だけでなく、ざっくばらんに話し合う時間を持ちたいと思っています。

支援者・学習者紹介

☆中下裕香さん

★バレッタさん(アメリカ出身・男性)

上達のポイントは「気づき」

初めまして。中下裕香です。にほんごひろば岡本での活動に参加させていただくようになってちょうど1年になります。現在は日本語学校で日本語教師として働いていますが、こちらでの出会いもご縁だと思い、週1回、続けています。

私が一緒に勉強している方はアメリカ人のバレッタさんです。岡本駅近くの「バレッタ英会話教室」の先生です(阪急岡本駅のホームに大きな看板があるのをご覧になった方も多いのではないのでしょうか)。日本の食べ物の中では「おたべ」が大好きという甘党のバレッタさん。来日10年を過ごしています。職業柄、日常生活で日本語を使

う機会がほとんどなく、昨年日本語を勉強し始めたときは、ほとんどゼロの初級レベルでした。けれども基本的な動詞や形容詞、名詞はご存じのも



のが多かったので、日本語の文法規則をわかりやすく提示する方法を考えました。

テキストは『初級日本語げんき』を使っていますが、その提出順序に沿うだけでなく、バレッタさんとの会話の中で頻繁に出てくる言い間違いをキャッチし、プリントに整理して提示し、口慣

らし練習で身につけるという方法をとりました。「こんなことが日本語で言いたかったんだ」とか、「ずっとこんな間違った言い方をしていたんだ」などという『充足感』『気づき』を感じていただきたいと思ったのです。具体的に指摘した表現はといえば、「～たことがあります」「～たいです」「い形容詞-くて・・・」などなど。言いたいことはわかるから・・・と、きっと誰にも訂正されなかったのだらうなと感じました。

「ひろば」はボランティア活動とはいえ、間違っているところは「間違っているよ」と訂正してあげられる場でもあると思うのです。もちろん直接的に指摘するわけではありません。

ポイントは『気づき』です。

「今日はこの表現を勉強しましょう」とさらっと提示し、バレッタさんご自身に今までの間違いを感じていただく。特に私から「今まで間違っていましたね」と指摘するようなことは決してしません。そして、間違いが直るまで根気よく訂正練習を繰り返して行きます。このように練習を重ねるうちに、ずいぶん凝り固まっていた「バレッタさん流の言い間違い法則」も最近では少なくなってきました。

今は、さらに新しい表現を習得しつつあります。日本語力向上のカギは『気づき』のほかにもう一つあると思います。

それは、学習者の好きな『練習方法』を見つけることです。

単純な変換練習など地道な練習が好きな人もいれば、何となく雰囲気覚えたい人(動詞の「て形」変換など)や、とにかく思ったことを口にするだけで身につけていく人など。これは教える側に合わせてもらうのではなく、勉強する側の好みを最優先に考えるべきだと思います。日本語力向上は、学習者本人のやる気にかかっているのですから。

何だか偉そうなことを書いてしまいましたが、今でも毎回試行錯誤でやっています。その日の学習に一喜一憂しすぎることなく、バレッタさんの

豪快な笑い声とともに、楽しく有意義なひと時になることを毎回祈りつつ。

★金田英里さん

★渡辺さつきちゃん(フィリピン出身・女子)

私たち同窓生です



はじめまして、金田英里です。松蔭女子学院大学の4年生で、主専攻は英語ですが、副専攻で日本語教育を去年から勉強しています。松蔭は国際交流が充実していて、いろいろな国から来た留学生と交流する機会も多いので、自然と日本語教育に興味湧き、今一生懸命勉強しています。最終的には、海外、主に英語圏の国で日本語を教えられたらいいなと思っています。

私はこの春からひろばに来ているのですが、今教えているのは、私の出身校でもある、本山第二小学校に通っている、小学校5年生の渡辺さつきちゃんです。さつきちゃんは、お母さんがフィリピン人で、去年の12月に日本に来ました。まだ日本に来て半年くらいですが、とても勉強熱心で、漢字もたくさん書けるようになったし、いつも楽しそうに勉強していて感心してしまいます。やっぱりこどもの吸収力はすごいなと思います。

私とさつきちゃんは、主に学校の宿題や、さつきちゃんが自分で用意した漢字のドリルなどを一緒にやっています。いろいろな単語や少し複雑な文章もあって、いつも説明に苦戦していますが、ちゃんと彼女が理解するまで諦めないように努力しています。1時間半の学習のうち、1時間く

らいは問題を解いているとすぐに過ぎてしまいます。勉強ばかりではさつきちゃんもしんどいと思うので、最後の 20～30 分くらいは、ゲームの時間にしています。ひらがなのカードを使って単語を作るゲームや、時には折り紙などをするこゝもあります。さつきちゃんはこのゲームの時間を楽しみに、宿題を一生懸命やっているのゝで、できるだけいろんなゲームを考えて、楽しく遊んで学習を終われるように工夫をしています。

私たちは一緒に勉強し始めて、まだ 3 カ月も経っていませんが、毎回仲良く楽しく勉強しています。さつきちゃんが頑張る以上に、私もさつきちゃんの役に立てるように頑張りたいと思います。

☆田村真希さん

★趙恵玲ちゃん（中国出身・女子）

共に学んでいます

はじめまして。6 月から、趙恵玲（チョウ エーレン）ちゃんの日本語学習のサポートを引き継ぎました、田村です。

ふだんは病院で医師として働いております。子供達に教えることは、学生時代以来、久々のことだったので、少々どぎまぎしながらの支援開始でしたが、恵玲ちゃんの明るさと、伸びやかな才能にも逆に助けられながら、教えつつ色々なことを学ばせてもらっています。

現在は主に、恵玲ちゃんの学校の教材を使用しながら進めています。得意な分野、苦手な分野、色々あるようなのですが、一緒に学習することで、それらを共有しながら、前に向かっていくこと、新たなことに挑戦することを、楽しいと思えたり、それを乗り越えていくことに喜びを見出してもらえような、学習サポートができれば・・・と考えております。

恵玲ちゃん、これからも一緒にがんばっていきましょうね！

ひろばの皆様、教え手としてはまだまだ未熟者、と自覚しております故、今後とも御指導の程、ぜひひよろしくお願ひいたします。

さて、私とひろばとのお付き合いは、パキスタン人の夫 Gulzar Ali が今年 4 月から生徒としてお世話になり始めたころからでして、自らボランティアをしたいと思ったきっかけも、夫の学習を自宅でもうまくサポートできたらなあ、と考えたことにありました。ひろばに出会うまでは、私も夫も、どのように学習を進めていったらよいのか、ふたりして困っていたのですが、ひろばに通うようになり、支援者の方々が良い関係を作ってくださったおかげで、まず夫も、日本語学習を「むずかしい、むずかしい」と言いながらも、少しずつ楽しめるようになったようです。最近



ご近所さんとも、まだまだ片言ではありますが、日本語の会話を楽しみ、交流を深めているようです（私よりもご近所付き合いが上手なようで、見習いたいくらいです！）。私自身も、ひろばで教える立場となり、またいろんな国の方々が学習する姿を垣間見つつ、「ああ、私たちもこれでいいんだな」という、共同体に属している安心感もあるのでしょうか、何とも不思議なのですが、これまで以上に夫に対して寛容な気持ちになることができた気がして、嬉しく思っております。

夫はパキスタン北東部、スカルドというところの出身です。「桃源郷」という呼び名もあり、春になると杏の花の風景がとても美しい場所です。

皆さんは K2 という山をご存知でしょうか？標高は 8611 メートル、世界で 2 番目に高い山です。夫の故郷はその麓、標高約 2500 メートルの高地ですが、そんなところからはるばる日本にやってきたのは、昨年の 9 月のことでした。その後イス

ラムの聖地巡礼の旅に出かけ、腰を据えて日本語の勉強を始めたのは、今年の春からです。地元では薬剤師として働いていたのですが、あまり医師数の多くない地域であり、「はだしの医者」的な役割を担っておりました。地域の一社会資源としての責任感が強く、若い頃から血液（献血）事業の立ち上げに携わったり、山岳地帯の地方病であった「ヨード欠乏症」の予防活動に従事したりしていました。そのような活動を経て、最近は「教育がやっぱり大事」という観点から、地域の学校をサポートする活動も行っています。ご興味のある方、よかったですら以下のブログを覗いてみてください。 <http://blogs.yahoo.co.jp/makirabia>

熱い人間で、活動のことも含めて、色々皆さんに熱く語ることもあるかと思いますが・・・人の熱い思いに耳を傾けることも大好きなので、機会あればぜひ一緒に熱く語っててください！この8月から3カ月間は活動も含めた諸事情により、一旦帰国しておりますが、また11月頃からひろばでお世話になる予定ですので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。（ご主人のアリさんは6ページで紹介しています）

学習者紹介

★浜田 アピンヤーさん（タイ出身・女性）



普段着のにほんごを

今年1月に来日しました。日本人のご主人と結婚されてもう5年になるので、タイでも日本人の先生に日本語を習っていたそうです。きっと真面目な生徒だったのでしょう、文法や読み書きは中

級に進んでもいいくらいです。しかし、その日本語能力を実際に使いこなせてはいないようですし、お国では『みんなの日本語』を使ってなかったと聞いたので、『みんなの日本語』の抜粋を復習しています。

なぜうまく使いこなせないか？第一の理由は真面目な生徒は「です・ます」調が得意なんです。幼稚園に通うお嬢さんが覚えてくる言葉は時々彼女の日本語にはリンクしないようなので、いまどきの話し言葉や『にほんご 45 じかん』も取り入れています。第二の理由は彼女がとても控え目で奥ゆかしくて大人しい性格だからです。

日本人の友達もまだあまりいないそうなので、ひろばに来ているおしゃべり好きの皆さま～ん、どうぞアピンヤーさんにどしどし話しかけてあげてください。怠け者ボランティアから重ねてお願い致します。じゃんじゃん話しかけてやってください。（古瀬尚子）

★グルザール・アリさん

（パキスタン出身・男性）

情熱家です！

アリさんには、「とても」が良く似合います。とても真面目、とてもやさしい、とても勉強家、とても家族思い....。

パキスタンの文化やご自分の家族の事、取り組んでいる社会福祉事業の事になると、話し出したらとまりません（残念ですが、英語です）。

5月から『みんなの日本語』を使って、学習しています。ユーモアたっぷりのアリさん、笑い



が絶えません。覚えていなかったり間違ったりすると、ウルウルとしたダークアイで悲しそうに「ごめんなさい」と言われ、こちらが申し訳なくなったりします。

アリさんの奥様は日本の方ですが、日本語を勉強して、パキスタンの言語ウルドゥ語をわからない奥様に通訳してあげたいそうです。さらにうらやましい事に、奥様にお弁当を作って勤務先まで届けてあげたり、家事を手伝ったり、万能選手なのです。

アリさんの目下の悩みは、日本語の会話を練習できるような友達がないことです。奥様は友達を作ったと言うそうですが、アリさんに話かけてくるのは女の人がほとんどで、日本人の男の人は「ガイジン」と見ると逃げるそうです。女の友達なんてきつと奥様に嫌われてしまうし……。どうぞアリさんに日本語で話しかけてあげてください。(小澤恭子)

★デーンさん (タイ出身・男性)

頑張り屋のシェフです

ウィシスンヌン・スリヤンさん(ニックネーム:デーンさん)は、タイ出身のシェフさんです。岡本にある「クワンチャイ」というタイ料理店でシェフをしています。忙しい仕事の合間をぬって、お店の休憩時間を使ってひろばに来ています。

デーンさんは、2年前の9月に来日。日本はその時が初めてでした。ひろばに来るようになったのは、日本の会社で働いていることと、もっと日本人と話せるようになりたいと思ったからだそうです。



初めて会ったとき、あいさつ程度の会話しかできませんでした。大丈夫かなと思う一方で、デーンさんの勉強熱心な姿に心を打たれました。『みんなの日本語』のその課が終わる前には、課末の問題を自主的にやっていました。宿題を出しても、必ずきちんとやってきます。

しっかり勉強しているので要求するレベルも少し高いものになっていますが、それでもちゃんとマスターしています。素晴らしいです。

だんだん会話にも慣れてきて、デーンさんの好きなサッカーの話や、趣味のジョギングのこと、お店の方と京都のお寺に行った話などもできるようになりました。デーンさんのお国の話も聞けて、楽しいです。デーンさんはもっと日本で働きたい、と言っています。日本のことを気に入っているようです。

勉強を始めたころのことを思うと、こういう話ができるようになるなんてすごいことだと思います。週1時間半の学習ですが、努力すれば大きな成果がでるんだなあ感慨深いです。

「クワンチャイ」のデーンさんの料理はとてもおいしかったですよ。皆さんもぜひ「クワンチャイ」に行って、厨房でがんばっているデーンさんに声をかけてあげてください。(松岡紀子)

★郭 春雷さん (中国出身・女性)

憧れの日本で

郭 春雷(カク・シュンライ)さんは今年の2月に来日、3月からひろばで学習しています。彼女のふるさとは大連です。聡明で努力家、大の日本ファンです。日本に来るまでは大連にある日本企業に勤めていましたので、日本語はとても上手です。小さい頃から日本の企業で働きたくて、中学・高校では日本語を学び、就職してから夜間の日本語学校に通い勉強していたそうです。

憧れの日本に来ることが出来、とても嬉しいようです。

「日本に住んで感じたことは街がきれいで

人々はみんなやさしく親切です。公共施設も充実しています。でも困っていることもあるんです。



小学1年生の息子に日本語の学習の助けになるかと考えてテレビを見せていますが、親として見せたくない番組を好んで見るんです。どうしてあんな番組をつくるんですか？」・・・と。「日本が大好きな私にはとても悲しいことです」とも。

息子さんの学校の勉強、中国語の勉強、自分の勉強、主婦業と忙しい日々ですが、小学校のお母さんたちとも仲良くなり、日本の生活を楽しんでいるようです。

大好きな日本の良いところも悪いところも全部見て、知って、そして、ずーっと日本のファンでいてほしいと思います。(坂本喬子)

★大場ナルモンさん(タイ出身・女性) 新しい仲間です

鄭仙京さんと入れ替わるように、今年の4月からナルモンさんがひろばの仲間になりました。ナルモンさんは日本人のご主人と結婚されて、2人のお子さんを持つママさんです！日本に来て10年近く経ちますので、日本語のコミュニケーションはお上手でした。ただ、文字が定着していないということで悩まれており、ひろばに来ました。最初は、文字が読めないことによりかなり悩んでいて、娘さんが小学校で使用している漢字ドリルで一生懸命独学していました。

ひろばで勉強を始めてからも「文字を習得したい」という意気込みは相当なものです。しかし、

日本語の文字というのは、ひらがな、カタカナ、漢字それにアルファベットと、とにかく種類が多く、やみくもに勉強してもなかなか結果がでません。最初は彼女の焦る気持ちを説得しながら、徹底的に「ひらがな」「カタカナ」の復習をしました。

今はもう、ひらがなはほとんど完璧です。カタカナは少々苦手なようですが、それでもチラシやメニューに書いてある品物を読むことができるようになりました。今まで「音」で認識していた語彙を、ディクテーションを通して、今度は「文字」でも認識する練習をしています。もともと日本語の語彙は相当量知っていますので、ものすごく定着が早いです。

5月くらいからは並行して漢字の練習も始めました。できるだけ使用頻度の高い漢字から習得できるよう、日本語能力試験対応の漢字テキストを使い、まずは4級の漢字から練習しています。もうすでに半分くらいは習得しました。

この調子でいけば12月の日本語能力試験の頃には充分4級の漢字はマスターできるので、今は能力試験の4級を受験してみてもどうかと提案しています。文字さえ読めれば、文法や聴解は問題



ないので、合格は難しくないと思います！

ナルモンさんの下のおさんはまだ1歳で、家事や主婦業で忙しい中、それでも毎週ほとんど休まずにレッスンに通っています。宿題もしっかりやってきます。支援している私もとてもやりがいがあります。

ナルモンさん、一緒に頑張って日本語上手にな

りましょうね！（三木知津子）

★孫 国慧さん（中国出身・女性）

親子で1年生、頑張っています

孫 国慧（ソン コッケイ）さんは中国・大連から、今年の5月に来日しました。ひろばでの学習はまだ2回ですので、ほんの少し彼女を紹介しましょう。

彼女の第一印象はとても優しく笑顔のすてきな人だなあ、でした。

本山第二小学校でも1年生の娘さんと、親子で「あいうえお・アイウエオ」の勉強をしています。

彼女は中国では数少ない会計士（国家資格）の一人で、それも独学で試験に合格したそうです。そんな努力家ですから日本語もきっと早く習得

することだと思います。

1日も早くたくさんの人と会話ができるように私も頑張って応援していきたいと思います。（坂本喬子）



みんなのひろば

【七夕まつり週間】

今年は7月2日（水曜日）と5日（土曜日）に七夕まつりをしました。書道、茶道、折り紙などを体験してもらいました。笹に願い事を書いた短冊を結びましたが、愛にあふれることばが多くありました。お抹茶は美味しいと言いながら苦そうな顔の人もありましたよ。

News Letter に載せきれなかった写真はHPにアップしていますので、楽しんでください。



【学生ボランティアさん 卒業おめでとう！】



神戸松蔭女子学院大学の学生ボランティアの5名（写真左から 大道麻里さん、魚井沙織さん、安楽美希さん、矢崎奈央子さん、石田奈々さん）が3月めでたく卒業されました。おめでとうございます。

それぞれ、新しい道を歩んでおられます。今後のご活躍をお祈りします。

O G大歓迎ですから、またひろばに顔を見せてください。

学習者のひろば

【竹永くん&鄭仙京夫妻に赤ちゃんが産まれました！】

長らく、日本語を勉強していた鄭仙京（ソンギョン）さんが、ご主人の転勤とご自身の出産で、ひろばを去ってからはや半年。

連絡が遅くなりましたが、2008年4月13日20時01分、仙京の故郷ソウルにて、無事に3054gの元気な男の子を出産されました！おめでとうございます！

現在、ご主人の竹永くんは、彼の故郷である北海道にUターン転職され、函館で単身赴任しています。仙京は、7月7日に日本に戻り、現在は息子さんと一緒に札幌のご主人の実家で、新米ママとして奮闘中です！8月には函館の新居に引っ越して、約半年ぶりの家族水入らずの生活をスタートさせるそうです！

今年は彼らにとって激動の1年でしたが、逆に一気に幸せがやってきた年でもあります。

函館でも、持ち前の明るさと根性と、そしてひろばで培った日本語力ががんばってほしいと思います。



【お帰りなさい！モニカさん】

2001年にひろばで学習していたメキシコ出身のモニカさん、みなさん覚えていませんか？彼女は、ご主人の仕事の関係で2002年10月に東京に移り、さらに2006年9月にはなんとバルセロナ（スペイン）で生活を始めました。

そのモニカさんも2児の母親になりました。夏休みを利用して、帰国しています。2カ月ですが、ひろばへ日本語の学習に来ました。家庭

では日本語を使っているせいか、とてもなめらかな日本語でまるでネイティブな日本人と話しているようでした。「サグラダファミリア」の話やスペイン人気質の話、モナミちゃんのお弁当など楽しく話してくれました。紋名美（モナミ）ちゃんと城正（ジョウセイ）くんといっしょに市川さんとの再会を喜んでいました。

9月にはバルセロナに戻りますが、また帰ってきたら、ひろばに顔を見せてくださいね。

ステップアップ講座レポート

今年度のステップアップ講座は、事前のアンケートを反映させて6月に2回、7月に2回、塩田智子先生に講師をお願いして行ないました。

昨年まで行なっていた『みんなの日本語』の各課の解説は一応修了ということにして、前記のアンケート調査でかなり要望があった「初級日本語文法」を取り上げることにしました。

地域日本語教室はミニ日本語学校ではないので、教科書を使って教えることより、さまざまな工夫をしながら学習者のニーズに合ったことを学習するのが好ましいのですが、それでも日本語文法について聞かれることがあります。

今回は支援経験の浅い支援者を対象に①動詞・形容詞（グループ分けと活用）②指示詞（こ・そ・あ・）と授受表現③条件を表す文型（たら・ば・と・なら）様態・推量を表す文型（そうだ・ようだ・らしい）④受身と使役など基本的なことをわかりやすく楽しく教えていただきました。各回のレジュメは保管していますので、希望者は申し出てください。

以下、講座に参加された方のレポートを載せています。

ステップアップ講座を受けて

佐々木五十四

個人的にこのステップアップ講座（4回×2.5時間）を大いに期待していました。

まず第1に、先生に直接、日本語に関して教えてもらえることです。過去1年、日本語教育に関して学習してきましたが、所詮本を読むだけで実際のポイントや重要度や難しさを十分に理解することはできません。先生にじかに教えていただくことの効果は計り知れません。期待に違わず、本当にいい講座内容でした。塩田智子先生は、お若いが経験も知識も充分で、説明は勿論、各質問にも肩肘張らず明快に答えられました。日本語は曖昧な点が多々あるから使い方の良否の判定は難しいものであるが、常に納得できる説明をされたのには感心しました。また、各回の講座内容のレジュメを用意され、それに沿って説明されたのでほんとうによく理解できました。『はい ○○さん』と、そのレジュメの例題を読むとか質問が常時あり私は緊張の連続でした。午後の2時間余、通常の講習ではきっと寝るだろう私であるが、4回とも寝なかったことは自身驚きであるし、なにより塩田先生の手腕や教える旨さに、人に教える基本を教わった気がしました。先生が魅力的だったこともありますが内容のある、充実した講座でした。

2つ目は『他の支援者と親しくなること』です。まだ私は入会して半年で支援者との交流はほとんどありません。この機会に他の支援者と親しくなることを期待していました。出席者数が思っていたより少なかったこともあり、残念ながら期待通りとはいえませんでした。（主因は自分の社交性のなさか）

3 つ目は、これは全く私的な事ですが、ひょんなことから家内も今回の講座に参加させていただきました。定年後 1 年余、私がなにを勉強していたのか？ 今回の講座で彼女が少しは理解してくれるだろうと期待していました。これも大いに効果がありました。家内も日本語の難しさを理解し、私がなにをしているかを理解してくれたようです。

個人的には大いに満足した 100 点満点の講座でした。

いろんな意味で自分に日本語教育の実際的な知識が身についたと喜んでいます。

塩田先生に感謝すると共に、この講座を企画され実行された西村代表、宮武さん、井畑さん他運営委員の方々にお礼申し上げます。

ありがとうございました。

■お知らせ■

＊ひろばの BBQ＊

2008 年 10 月中旬を予定しています。

日時などの詳細が決まったら、お知らせします。ひろばの黒板を注意して見てください。

CONTENTS

★にほんごひろば岡本 第 9 回総会 & 支援者交流会の報告.....2

★支援者・学習者紹介

中下裕香さん	バレッタさん.....3
金田英里さん	渡辺さつきちゃん.....4
田村真希さん	趙恵鈴ちゃん.....5

★学習者紹介

浜田アピンヤーさん	グルザール・アリさん.....6
デーさん	郭 春雷さん.....7
大場ナルモンさん8
孫 国慧さん9

★みんなのひろば9

★学習者のひろば10

★ステップアップ講座レポート11

★お知らせ

〔編集子のつぶやき〕 3 月以来ずいぶんご無沙汰してしましたら、日本が亜熱帯気候に変わっていました。「にほんごひろば岡本」も新しい仲間が増えました。気軽に「おしゃべり」をしましょう。(I・M)